

商業簿記

【第25回】

テーマ 21

連結会計Ⅱ

テーマ21 連結会計Ⅱ

1. 連結修正仕訳の続き

【開始手続】 と 【期中手続】

- (1) 投資と資本の相殺消去
- (2) のれんの償却
- (3) 当期純利益の振り替え
- (4) 配当金の修正

1. 連結財務諸表の作成方法の復習 (P287)



親会社
(買収会社)

子会社
(被買収会社)

単純
合算

親会社の
財務諸表



子会社の
財務諸表

会計なものを消去する！

今回は、連結スタート2年目以降の話

親子会社の
連結財務諸表

投資と資本の相殺消去（親会社投資と子会社資本を消す）

単純合算貸借対照表

P社＋S社		× 1 年 1 月 1 日	(単位：円)
諸 資 産	諸 負 債		
	P社の資本金		
	P社の資本剰余金		
	P社の利益剰余金		
	S社の資本金		
	S社の資本剰余金		
S 社 株 式	S社の利益剰余金		



親会社（P社）

投資（S社株式）100



子会社（S社）

資本金100

1. 支配獲得後(1期目)の連結(設例21-1 P302~P307)



× 1 年 3 月 3 1 日



× 2 年 3 月 3 1 日

支配を
獲得!



親会社 (P社)

S社株式140,000
60%取得



子会社 (S社)

連結
第1年度



親会社 (P社)

60%支配は
継続



子会社 (S社)

子会社のB/S (× 1 年 3 月 3 1 日)

資 産	× ×	負 債	× ×
		資本金	125,000
		利益剰余金	100,000

子会社のB/S (× 2 年 3 月 3 1 日)

資 産	445,000	負 債	216,000
		資本金	125,000
		利益剰余金	104,000

(1) 前回の復習～×1年3月31日の連結修正消去を考えてみよう

× 1 年 3 月 3 1 日

支配を
獲得！



親会社（P社）



S社株式140,000
60%取得



子会社（S社）

子会社のB/S（×1年3月31日）

資 産	× ×	負 債	× ×
		資本金	125,000
		利益剰余金	100,000



非支配株主
40%分保有

①親会社（P社）の相殺消去仕訳（60%）

資本金	75,000	S社株式	140,000
利益剰余金	60,000		
のれん	5,000		

②非支配株主持分への振替仕訳（40%）

資本金	50,000	非支配株主持分	
利益剰余金	40,000		90,000



(2) × 2年3月31日の財務諸表を単純合算して、 連結消去したらどうなるだろうか？

× 2年3月31日

連結
第1年度



親会社 (P社)

60%支配は
継続



子会社 (S社)

子会社のB/S (× 2年3月31日)

資 産	445,000	負 債	216,000
		資 本 金	125,000
		利 益 剰 余 金	104,000

①親会社 (P社) の相殺消去仕訳 (60%)

②非支配株主持分への振替仕訳 (40%)

資本金 S社株式

利益剰余金

のれん

資本金 非支配株主持分

利益剰余金

× 1 年 3 月 3 1 日

支配を
獲得！



親会社 (P社)

S社株式 140,000
60%取得



子会社 (S社)

子会社のB/S (× 1 年 3 月 3 1 日)			
資 産	× ×	負 債	× ×
		資 本金	125,000
		利 益 剰 余 金	100,000



非支配株主
40%分保有

①親会社 (P社) の相殺消去仕訳 (60%)			
資本金	75,000	S社株式	140,000
利益剰余金	60,000		
のれん	5,000		

②非支配株主持分への振替仕訳 (40%)			
資本金	50,000	非支配株主持分	90,000
利益剰余金	40,000		

(2) × 2 年 3 月 3 1 日の財務諸表を単純合算して、連結消去したらどうなるだろうか？

× 2 年 3 月末の個別B/Sを合算しても、× 1 年の連結消去は全く反映されていない！

× 2 年 3 月 3 1 日

支配
2 期目



親会社 (P社)

60%支配は
継続



子会社 (S社)

子会社のB/S (× 2 年 3 月 3 1 日)			
資 産		負 債	
445,000		資 本金	125,000
		利 益 剰 余 金	104,000

①親会社 (P社) の相殺消去仕訳 (60%)			
資本金	75,000	S社株式	140,000
利益剰余金	62,400		
のれん	2,600		

②非支配株主持分への振替仕訳 (40%)			
資本金	50,000	非支配株主持分	91,600
利益剰余金	41,600		

(3) × 1 年 3 月 3 1 日に遡って連結修正する！ (P303・P304)



× 1 年 3 月 3 1 日



× 2 年 3 月 3 1 日

支配を
獲得！



親会社 (P社)



S社株式
60%取得



子会社 (S社)

子会社のB/S (× 1 年 3 月 3 1 日)			
資 産	× ×	負 債	× ×
		資 本 金	125,000
		利 益 剰 余 金	100,000

連結
1 年度



親会社 (P社)



60%支配は
継続



子会社 (S社)

子会社のB/S (× 1 年 3 月 3 1 日)			
資 産	445,000	負 債	216,000
		資 本 金	125,000
		利 益 剰 余 金	104,000

× 1 年 3 月 3 1 日

支配を
獲得！



親会社（P社）

S社株式
60%取得



子会社（S社）

子会社のB/S（× 1 年 3 月 3 1 日）

資 産	× ×	負 債	× ×
		資本金	125,000
		利益剰余金	100,000

過去に戻って
連結修正消去する！

× 2 年 3 月 3 1 日

支配
100%



親会社（P社）

60%支配は
継続



子会社（S社）

開始仕訳といいます
（P303・304）

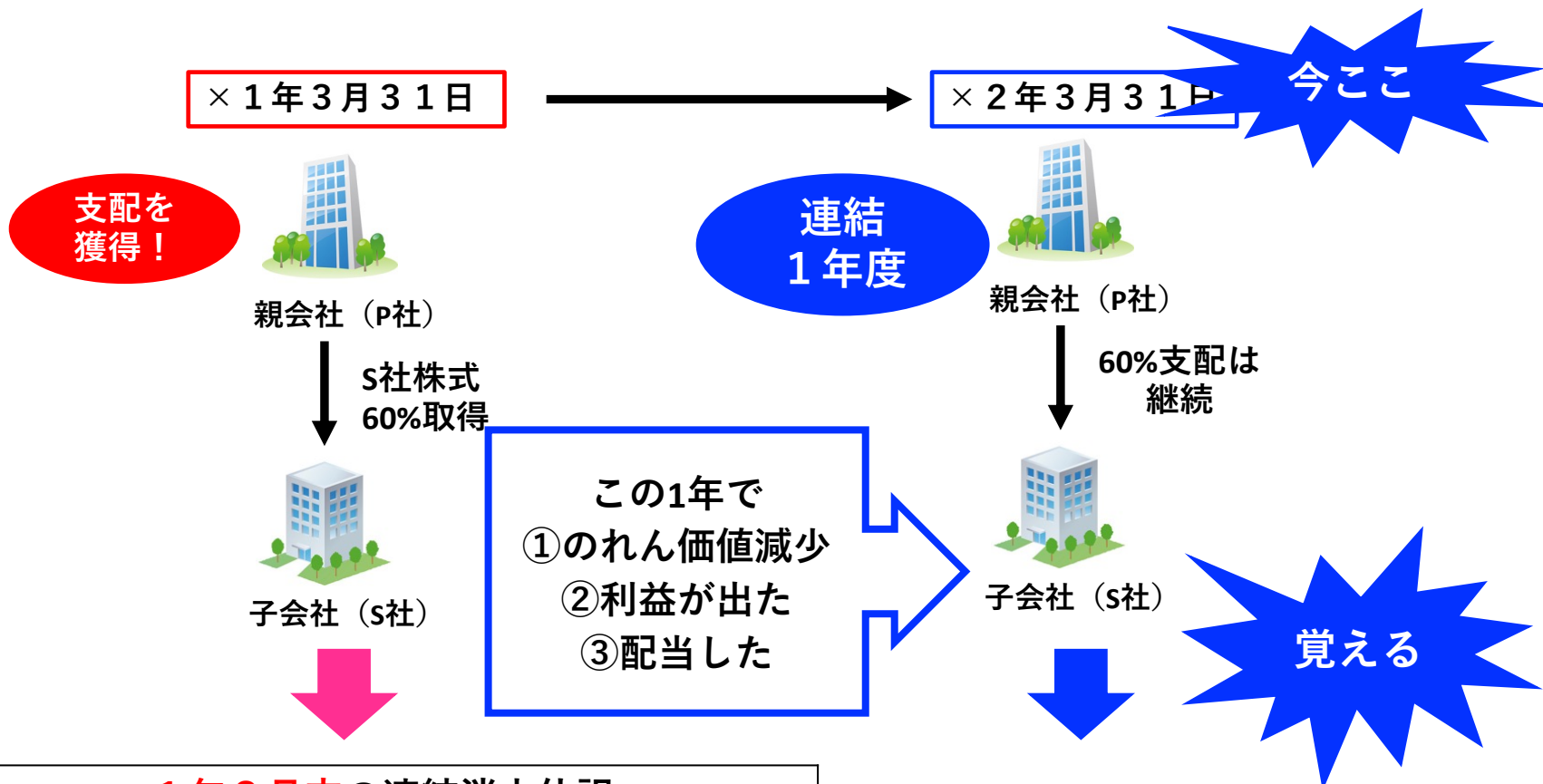
①親会社（P社）の相殺消去仕訳（60%）

資本金	75,000	S社株式	140,000
利益剰余金	60,000		
のれん	5,000		

②非支配株主持分への振替仕訳（40%）

資本金	50,000	非支配株主持分	
利益剰余金	40,000		90,000

(4) そのうえで、×2年3月31日の連結消去（期中仕訳）をする



A. ×1年3月末の連結消去仕訳 【開始仕訳】			
資本金	125,000	S社株式	140,000
利益剰余金	100,000	非支配株主持分	90,000
のれん	5,000		

×2年3月末の連結消去仕訳 【当期仕訳】	
①のれんの償却（P304）	
②当期純利益の振替（P305）	
③ 配当金の修正（P306）	

① のれんの償却（P308）

A. × 1 年 3 月末の連結消去仕訳
【開始仕訳】

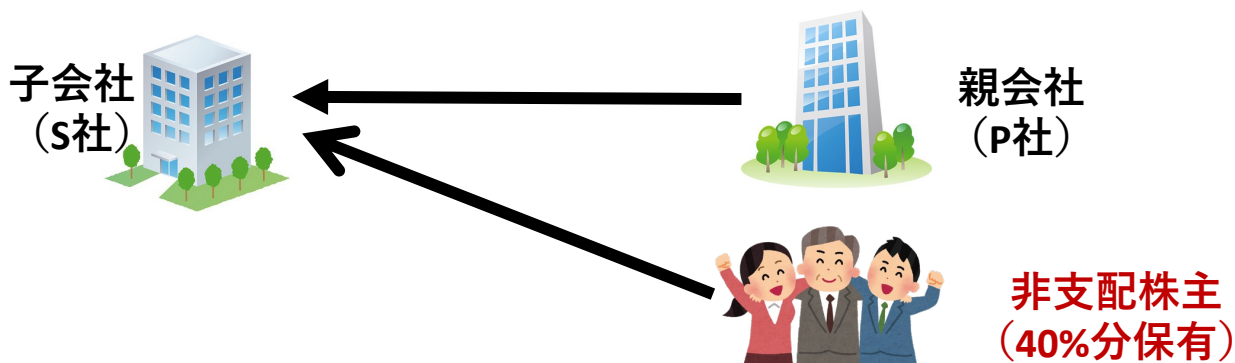
資本金	125,000	S社株式	140,000
利益剰余金	100,000	非 支 配 株 主 持 分	90,000
のれん	5,000		

Q. のれんはなぜ消却するのですか？
他に考えられる処理方法がありますか？

B. × 2 年 3 月末の連結消去仕訳
【当期仕訳】

のれん償却	のれん
-------	-----

② 当期純利益の振り替え（P308）



連結損益計算書

科目	金額
諸収益	588,000
諸費用	△528,000
のれん償却	△500
当期純利益	59,500
非支配株主に帰属する当期純利益	△9,600
親会社に帰属する当期純利益	49,900

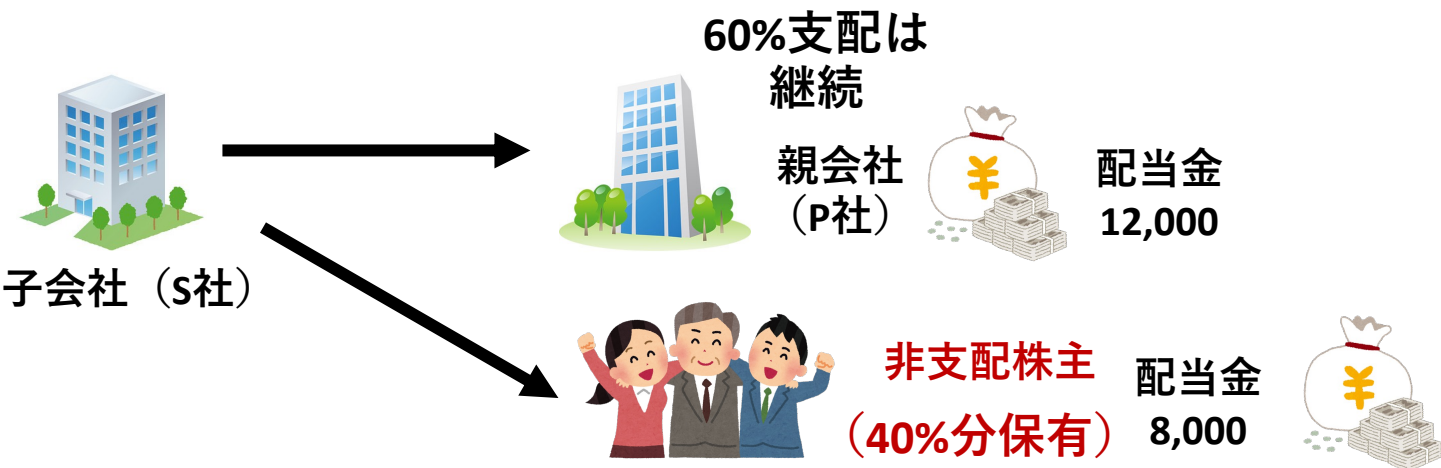


差し引けた後が
親会社の取り分

C. × 2 年 3 月末の連結消去仕訳
【当期仕訳】

非支配株主に帰属する当期純利益	非支配株主持分
-----------------	---------

③配当金の修正 (P308)



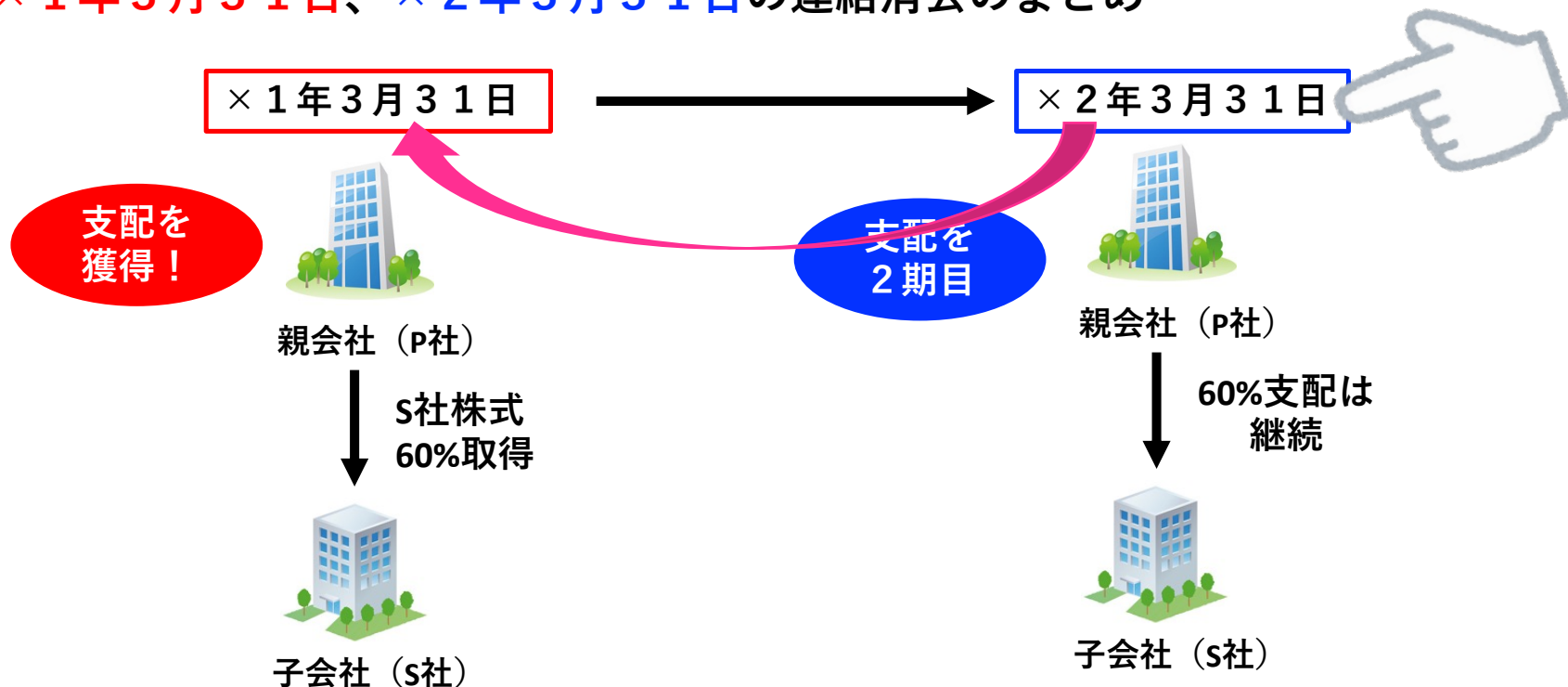
D. × 2 年 3 月末の連結消去仕訳 【当期仕訳】	
受取配当金 非支配株主持分	利益剰余金

× 2 年 3 月末の連結消去仕訳 【当期仕訳】		
①のれんの償却 (P304)	のれん償却500	のれん500
②当期純利益の振替 (P305)	非支配株主に帰属する当期純利益9,600	非支配株主持分9,600
③ 配当金の修正 (P306)	受取配当金12,000 非支配株主持分8,000	利益剰余金20,000

この3つは覚えてください。



(5) × 1 年 3 月 3 1 日、× 2 年 3 月 3 1 日の連結消去のまとめ



手順1: 開始仕訳きる(P308・309)

× 1 年 3 月末の連結消去仕訳
【開始仕訳】

資本金	125,000	S社株式	140,000
利益剰余金	100,000	非支配株主持分	90,000
のれん	5,000		

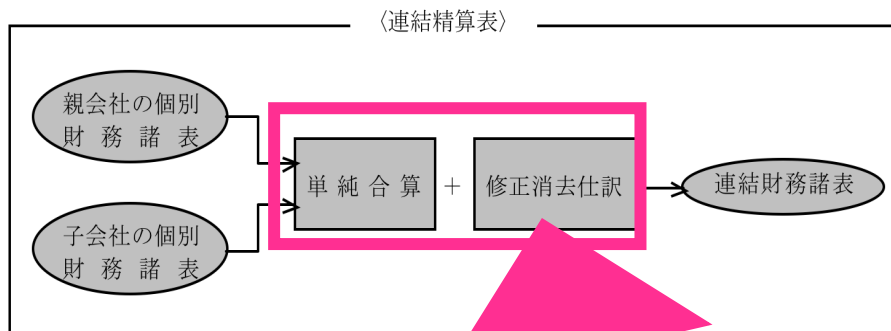
手順2: 当期の期中仕訳きる(P308・309)

× 2 年 3 月末の連結消去仕訳
【当期仕訳】

のれん償却	500	のれん	500
非支配株主に帰属する当期純利益	9,600	非支配株主持分	9,600
受取配当金 非支配株主持分	12,000 8,000	利益剰余金	20,000

2. 上記のA～Dまでの仕訳を連結精算表に入れてみよう！（P310～313）

－連結会計の基本構造－



「連結精算表」

なお実際に作成する連結精算表の形式を示すは、後述のとおりである。

手順1：開始仕訳きる(P308・309)

× 1 年 3 月末の連結消去仕訳 【開始仕訳】			
資本金	125,000	S社株式	140,000
利益剰余金	100,000	非支配株主持分	90,000
のれん	5,000		

手順2：当期の期中仕訳きる(P308・309)

× 2 年 3 月末の連結消去仕訳 【当期仕訳】			
のれん償却	500	のれん	500
非支配株主に帰属 する当期純利益	9,600	非支配株主持分	9,600
受取配当金 非支配株主持分	12,000 8,000	利益剰余金	20,000

(1) 「連結精算表」 に連結消去仕訳を記入する (P313・327～329)

【連結1年度】連 結 精 算 表

科 目	個別財務諸表		連結修正消去仕訳		連 結 財 務 諸 表
	P社 (親会社)	S社 (子会社)	借 方	貸 方	
貸借対照表					
【資 産】					
諸 資 産	610,000	445,000			
S 社 株 式	140,000				
の れ ん					
資 産 合 計	750,000	445,000			
【負 債】					
諸 負 債	(342,000)	(216,000)			
【純 資 産】					
資 本 金	(200,000)	(125,000)			
利 益 剰 余 金	(208,000)	(104,000)			
非支配株主持分					
負債・純資産合計	(750,000)	(445,000)			
損益計算書					
諸 収 益	(388,000)	(300,000)			
受 取 配 当 金	(12,000)				
諸 費 用	352,000	176,000			
の れ ん 償 却					
当 期 純 利 益	(48,000)	(24,000)			
非支配株主に帰属する					
当 期 純 利 益					
親会社株主に帰属する					
当 期 純 利 益					

【連結1年度】連結精算表

科 目	個別財務諸表		連結修正消去仕訳		連 結 財 表
	P社（親会社）	S社（子会社）	借 方	貸 方	
貸借対照表					
【資産】					
諸 資 産	610,000	445,000			1,055,000
S 社 株 式	140,000			140,000	
の れ ん			5,000	500	4,500
資 産 合 計	750,000	445,000	5,000	140,500	1,059,500
【負債】					
諸 負 債	(342,000)	(216,000)			558,000
【純資産】					
資 本 金	(200,000)	(125,000)	125,000		200,000
利 益 剰 余 金	(208,000)	(104,000)	100,000	20,000	209,900
			22,100	0	
非支配株主持分			8,000	90,000	91,600
				9,600	
負債・純資産合計	(750,000)	(445,000)	225,100	119,600	1,059,500
損益計算書					
諸 収 益	(388,000)	(300,000)			588,000
受 取 配 当 金	(12,000)		12,000		
諸 費 用	352,000	176,000			528,000
の れ ん 償 却			500		500
当 期 純 利 益	(48,000)	(24,000)	12,500	0	59,500
非支配株主に帰属する			9,600		9,600
当 期 純 利 益			22,100	0	49,900
親会社株主に帰属する					
当 期 純 利 益					

3. 「連結精算表」 から連結財務諸表を作成する（設例21-2 P311）

連結貸借対照表

× 2 年 3 月 31 日

(単位：円)

諸 資 産	諸 負 債
の れ ん	資 本 金
	利 益 剰 余 金
	非支配株主持分

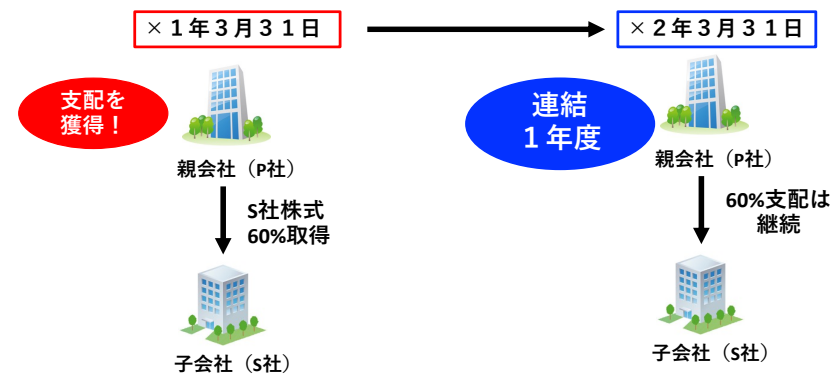
連結損益計算書

科目	金額
諸収益	
諸費用	
のれん償却	
当期純利益	
非支配株主に帰属する 当期純利益	
親会社に帰属する 当期純利益	

4.問題の解き方～「連結精算表」なしで 連結財務諸表を作成する（設例21-2 P310）

資料1.

子会社純資産	×1年3月31日	×2年3月31日
資本金	125,000	125,000
利益剰余金	100,000	104,000
合計	225,000	229,000



資料2.

S社は当期に20,000円の配当を行っている

貸借対照表

×2年3月31日

資産	P社	S社	負債	純資産	P社	S社
諸資産	610,000	445,000	諸負債		342,000	216,000
S社株式	140,000		資本金		200,000	125,000
			利益剰余金		208,000	104,000
	750,000	445,000			750,000	445,000

損益計算書

×1年4月1日～×2年3月31日

借方科目	P社	S社	貸方科目	P社	S社
諸費用	352,000	176,000	諸収益	388,000	200,000
当期純利益	48,000	24,000	受取配当金	12,000	
	400,000	200,000		400,000	200,000

設例21-2 P310

連結貸借対照表

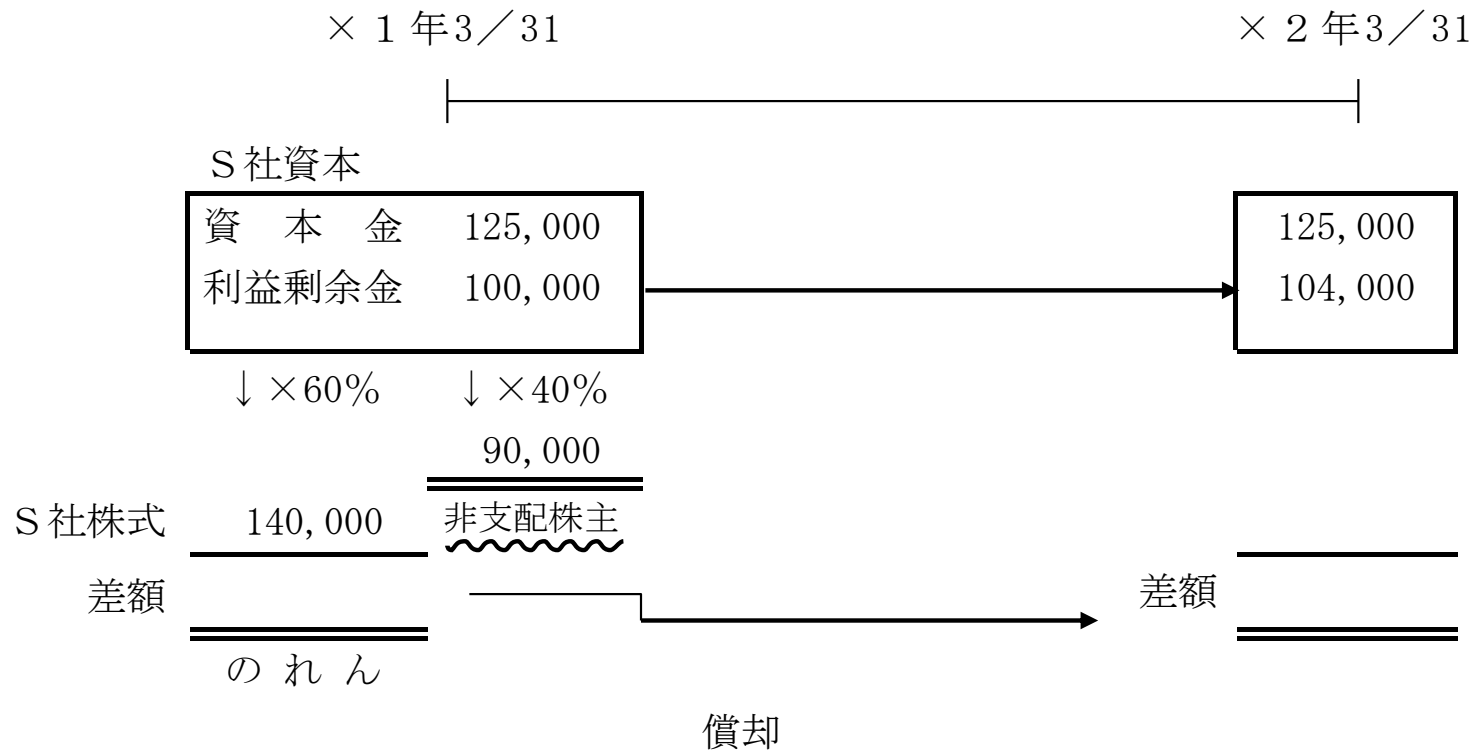
× 2 年 3 月 31 日 (単位：円)

諸 資 産	諸 負 債
の れ ん	資 本 金
	利 益 剰 余 金
	非支配株主持分

連結損益計算書

科目	金額
諸収益	
諸費用	
のれん償却	
当期純利益	
非支配株主に帰属する 当期純利益	
親会社に帰属する 当期純利益	

(1) タイムテーブルを使った解き方 (P308) → **S社の資本の推移を把握する**

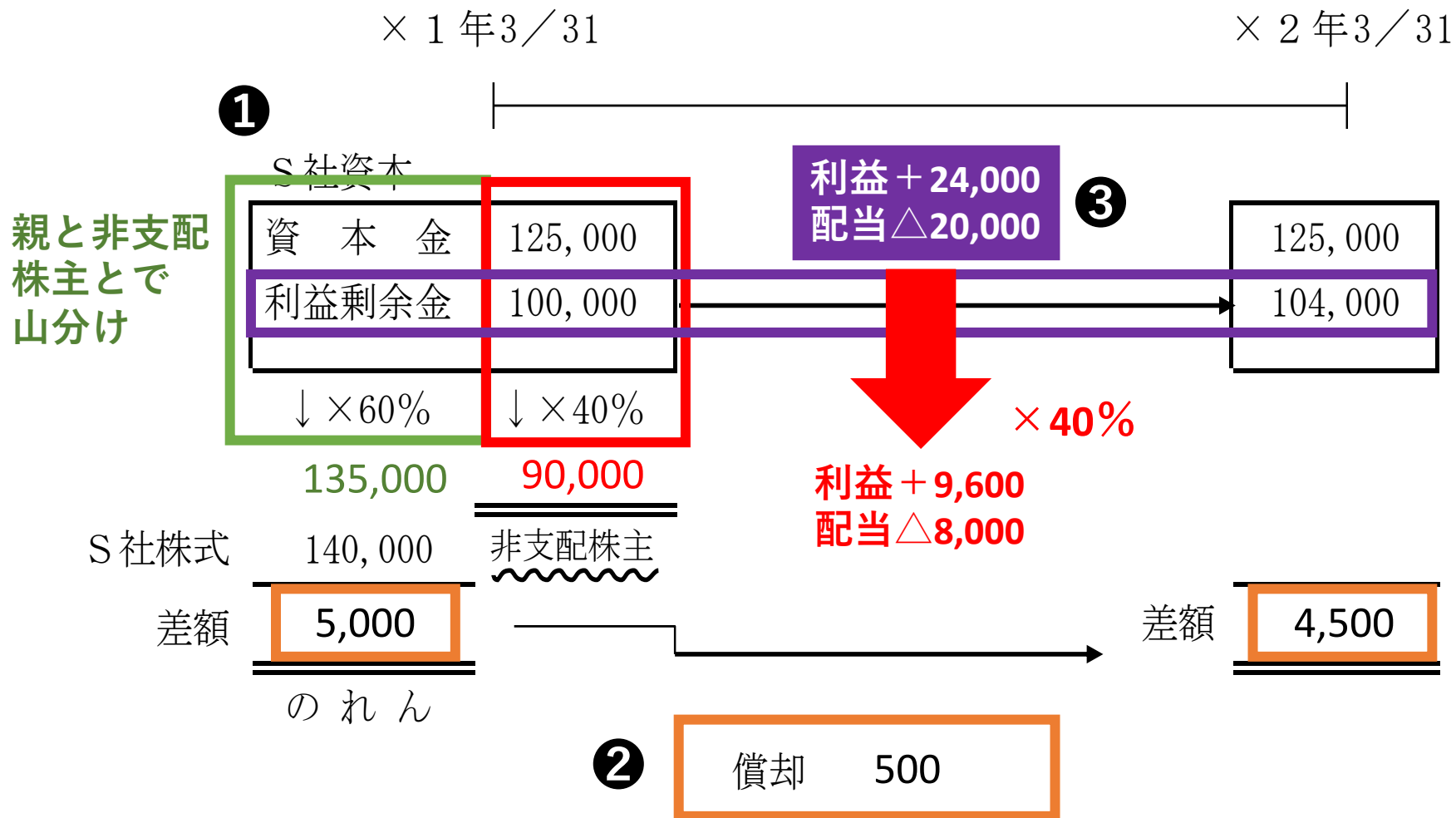


(2) 連結消去仕訳をきる (P308・309)

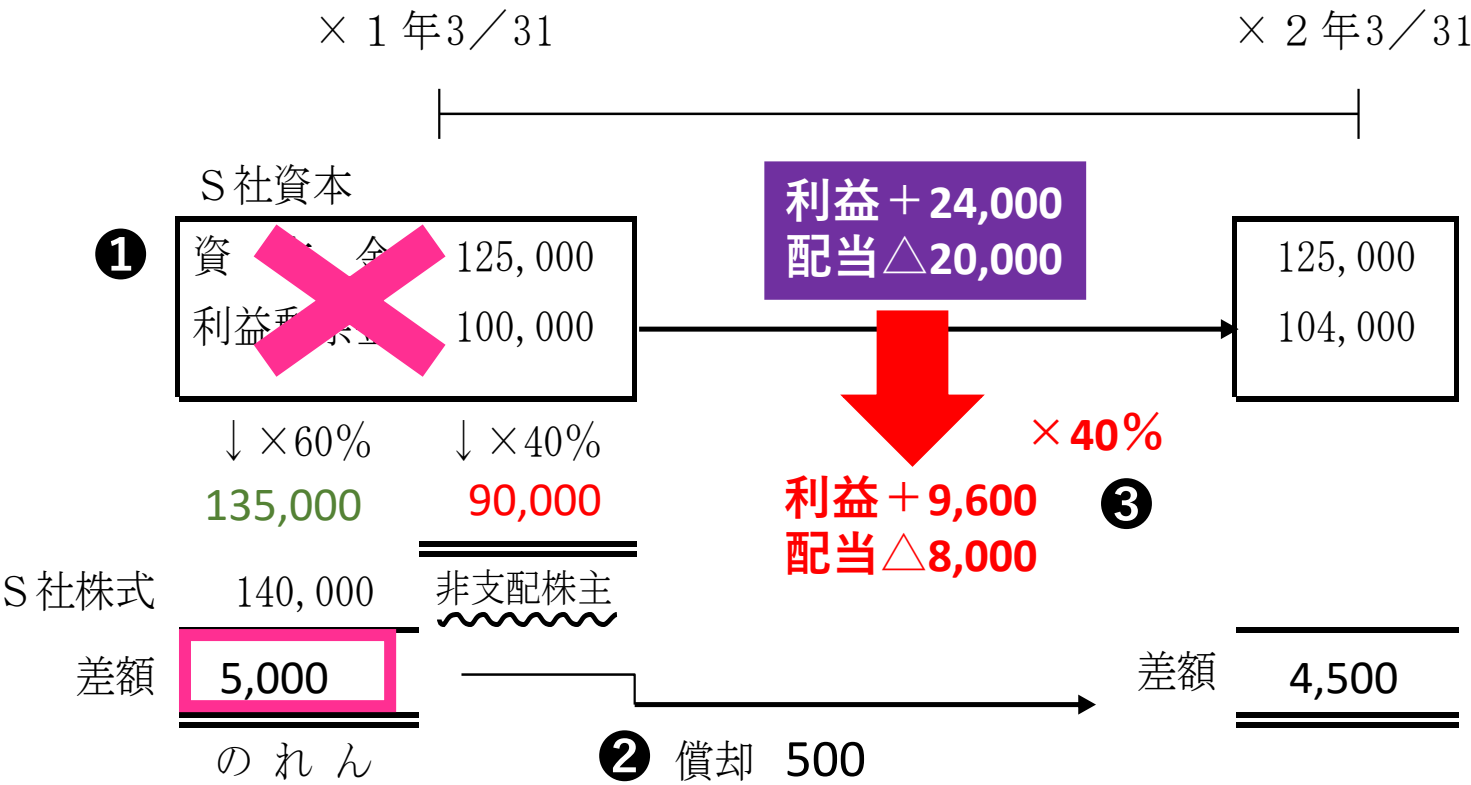
× 1 年 3 月末の連結消去仕訳 【開始仕訳】	
資本金	S社株式
利益剰余金	非支配株主持分
のれん	

× 2 年 3 月末の連結消去仕訳 【当期仕訳】	
のれん償却	のれん
非支配株主に帰属 する当期純利益	非支配株主持分
受取配当金 非支配株主持分	利益剰余金

(1) タイムテーブルを使った解き方 (P308) → S社の資本の推移を把握する



(1) タイムテーブルを使った解き方 (P308) → S社の資本の推移を把握する



(2) 連結消去仕訳をきる (P308・309)

① × 1 年 3 月末の連結消去仕訳 【開始仕訳】				× 2 年 3 月末の連結消去仕訳 【当期仕訳】			
資本金	125,000	S社株式	140,000	② のれん償却	500	のれん	500
利益剰余金	100,000	非支配株主持分	90,000	③ 非支配株主に帰属する当期純利益	9,600	非支配株主持分	9,600
のれん	5,000			受取配当金	12,000	利益剰余金	20,000
				非支配株主持分	8,000		